

## 株主様ご優待制度

毎年3月31日現在当社株式を1,000株以上ご所有の株主様に対し、下記の基準により、静岡県袋井市において例年8月に開催される「ふくろい遠州の花火」指定席入場券または郷土の産品「クラウンマスクメロン」を贈呈いたしております。(花火大会があらかじめ中止となった場合は、自動的にクラウンマスクメロンのご贈呈となります。)

ご所有株式数	選択区分	ご優待品
1,000株 ～1,999株	-	郷土の産品「クラウンマスクメロン」 2個
2,000株 ～4,999株	①	「ふくろい遠州の花火」指定席入場券 2枚
	②	郷土の産品「クラウンマスクメロン」 3個
5,000株以上	①	「ふくろい遠州の花火」指定席入場券 4枚
	②	郷土の産品「クラウンマスクメロン」 4個

## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
定時株主総会 毎年6月開催  
基準日 定時株主総会 3月31日  
期末配当金 3月31日  
中間配当金 9月30日  
その他必要がある場合は、あらかじめ公告して定めた日

単元株式数 100株  
株主名簿管理人及び  
特別口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社  
お問合せ先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
☎ 0120-782-031 (フリーダイヤル)

(インターネットホームページURL) <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>  
公告方法 当社の下記ホームページに掲載します。  
<http://www.enshu-truck.co.jp/>  
ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

上場証券取引所 東京証券取引所 (JASDAQ市場 証券コード 9057)

# 第49期 業績の中間ご報告

(平成25年4月1日から  
平成25年9月30日まで)

 遠州トラック株式会社



## 株主の皆様へ



株主の皆様には、平素格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに第49期上半期（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）の事業の概況につきましてご報告申し上げます。

当上半期におけるわが国経済は、復興需要の下支えに加え、政府の緊急経済対策や日本銀行による金融緩和策の効果が相俟って、企業収益や個人消費の回復など、持ち直しの兆しが見られるようになってまいりました。

このような状況下、当社グループにおきましては、前期や当上半期に入って取り扱いを開始した新規のセンター業務が寄与したほか、衛生用品や家具等の生活関連貨物の取り扱いが引き続き堅調に推移いたしました。

この結果、当上半期の連結決算につきましては、営業収益（売上高）が120億82百万円（前年同期比2.7%増）と、最高額を更新いたしました。

一方、利益面におきましては、従来有力貨物であった家電製品や紙製品が業界再編等の影響により取扱量を減少させたことや、一部貨物の増産に伴う波動を吸収し切れず外注費や労務費等が増加したことに加え、新規事業の立ち上げ費用も影響し、営業利益は4億4百万円（前年同期比9.0%減）、経常利益は3億53百万円（前年同期比14.8%減）、

四半期純利益は2億21百万円（前年同期比11.1%減）と、いずれも減益となりました。

部門別の営業収益の状況は次のとおりであります。

物流事業の営業収益は120億1百万円（前年同期比2.8%増）、その内訳は、輸送部門が75億68百万円（前年同期比0.9%増）、倉庫部門は44億33百万円（前年同期比6.3%増）となりました。

不動産事業は81百万円（前年同期比10.1%減）となりました。

設備投資につきましては、富士営業所（静岡県富士市）の土地建物（共有持分）の取得や複数倉庫における昇降設備の新增設など、総額7億19百万円を実施しました。

下半期以降のわが国経済は、欧州や新興国を中心とする海外経済の不透明化、原油やその他資源・原材料価格の上昇等、景気の下振れリスクを抱えているものの、成長戦略路線の推進や消費税増税前の駆け込み需要の出現などにより、現在の国内景気は持続、拡大していくものと予想されています。

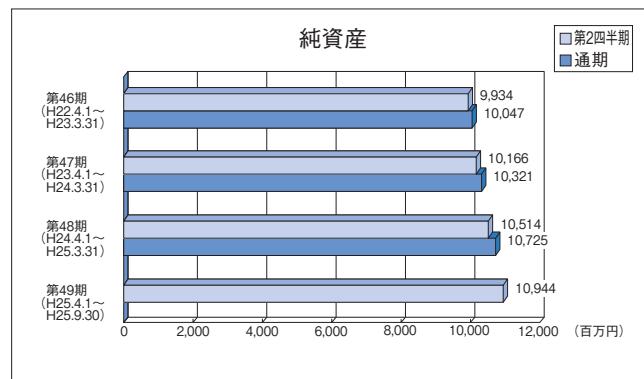
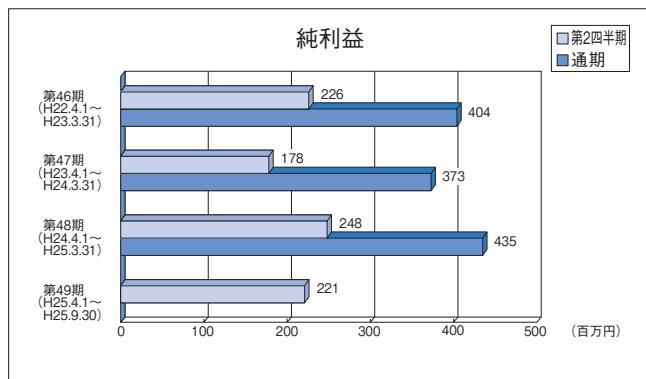
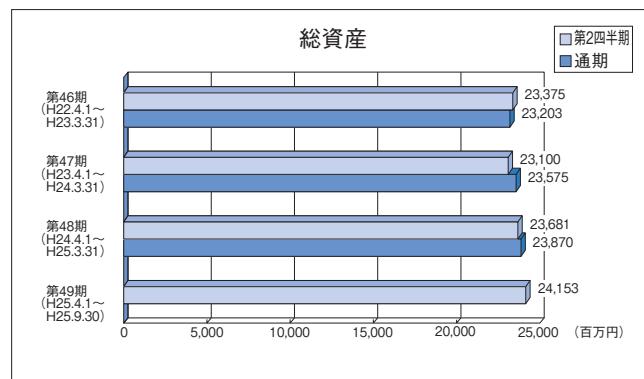
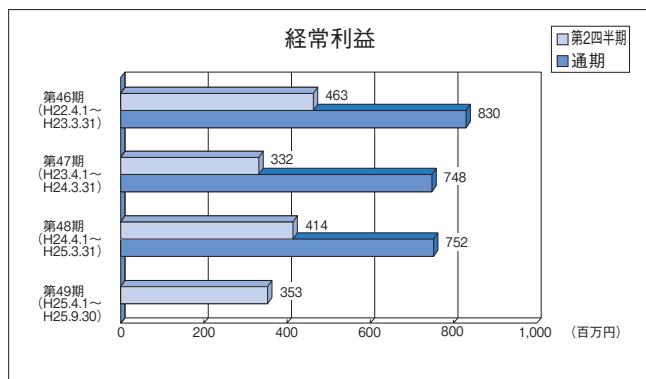
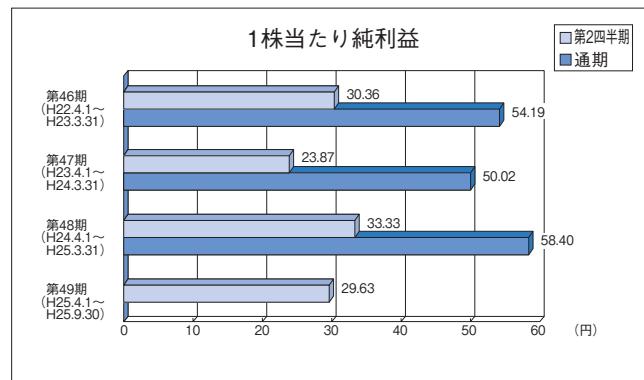
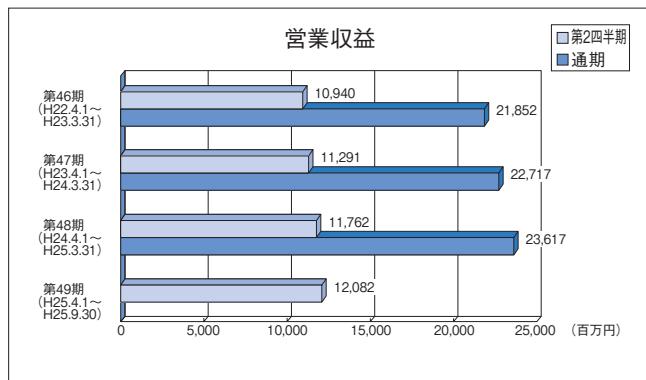
このような中、当社グループにおきましては、中期5ヵ年経営計画（2012～2016年度）に基づき、3PL事業（物流のアウトソーシング）を中心とする「戦略的物流」の推進を基軸に、主力の工業系物流に加え、流通系分野における取引開拓に注力し、事業の拡大、採算性の向上に取り組んでまいり所存です。

株主の皆様には、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年12月

代表取締役社長 澤田 邦彦

# 連結業績ハイライト



## 連結財務諸表（要約）

### 連結貸借対照表

（単位：百万円）

科 目	当第2四半期末 (平成25年9月30日現在)	前 期 末 (平成25年3月31日現在)
<b>(資産の部)</b>		
① 流動資産	4,986	5,142
固定資産	19,167	18,727
② 有形固定資産	16,093	15,684
無形固定資産	729	732
投資その他の資産	2,345	2,310
資産合計	24,153	23,870
<b>(負債の部)</b>		
③ 流動負債	6,800	7,040
④ 固定負債	6,409	6,104
負債合計	13,209	13,144
<b>(純資産の部)</b>		
株主資本	10,685	10,523
資本金	1,284	1,284
資本剰余金	1,086	1,086
利益剰余金	8,374	8,212
自己株式	△ 59	△ 59
その他の包括利益累計額	154	103
少数株主持分	104	97
純資産合計	10,944	10,725
負債及び純資産合計	24,153	23,870

#### Point

- ①主に、前期の末日が金融機関の休業日であったことより当第2四半期末の営業未収入金が相対的に減少し、「流動資産」は前期末に比べ1億56百万円減少しました。
- ②富士営業所土地建物の共有者の持分を購入したことなどに伴い、土地を中心に「有形固定資産」は前期末に比べ4億8百万円増加しました。
- ③上記①と同じく前期末日が休日であったことによる影響から営業未払金が減少し、設備支払手形の減少等もあり、「流動負債」は前期末に比べ2億39百万円減少しました。
- ④設備資金の調達や一部借入金の長期化を図ったことにより長期借入金が増加し、「固定負債」は前期末に比べ3億4百万円増加しました。

### 連結損益計算書

（単位：百万円）

科 目	当第2四半期(累計) (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	前第2四半期(累計) (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
① 営業収益	12,082	11,762
② 営業原価	11,340	10,971
営業総利益	742	790
販売費及び一般管理費	337	346
③ 営業利益	404	444
営業外収益	16	34
営業外費用	68	65
③ 経常利益	353	414
特別利益	5	0
特別損失	3	6
税金等調整前四半期純利益	354	408
法人税等	141	158
少数株主損益調整前四半期純利益	212	250
少数株主利益又は損失(△)	△ 8	1
③ 四半期純利益	221	248

#### Point

- ①前期や当上半期に入って稼働したセンター業務が寄与したほか、衛生用品や家具、食品等の生活関連貨物の取り扱いが堅調に推移した結果、倉庫部門を中心に「営業収益」は前年同期に比べ3億20百万円増加しました。
- ②一部貨物の増産に伴う波動が発生したことへの対応や新規業務の稼働に伴い外注費や労務費等が増加したことに加え、燃料価格が上昇したことなどにより、「営業原価」は前年同期に比べ3億68百万円増加しました。
- ③以上の結果、前年同期に比べ、「営業利益」は39百万円、「経常利益」は営業外損益が悪化したため61百万円のそれぞれ減益となりました。四半期純利益は法人税等の減少などにより27百万円の減益となりました。

## 会社の概要 (平成25年9月30日現在)

設立 昭和40年8月  
 資本金 1,284,300,000円  
 本社 静岡県袋井市木原627番地の3  
 従業員の状況 635名 (連結982名)  
 主要な事業所

本社事業部 静岡県袋井市木原22番地1  
 西日本事業部 浜松市西区湖東町5720番地  
 関東事業部 東京都港区浜松町一丁目2番11号

## 役員 (平成25年12月1日現在)

代表取締役社長	澤田邦彦
取締役	井上正明
取締役	豊田慶造
取締役	山本雅俊
取締役	井上育穂
常勤監査役	宮地好文
監査役	馬杉秀
監査役	秋山和幸
監査役	江口忠衛

(注) 1. 取締役 山本雅俊、井上育穂の両氏は社外取締役です。  
 2. 監査役 馬杉 秀、秋山和幸、江口忠衛の3氏は社外監査役です。

## 連結子会社

株式会社藤友物流サービス	(本社 浜松市東区)
遠州トラック関西株式会社	(本社 大阪府摂津市)
株式会社中国遠州コーポレーション	(本社 静岡県袋井市)
上海遠州物流有限公司	(本社 中国・上海市)

## 連結キャッシュ・フロー計算書 (単位：百万円)

科目	当第2四半期(累計) 自平成25年4月1日 至平成25年9月30日	前第2四半期(累計) 自平成24年4月1日 至平成24年9月30日
① 営業活動によるキャッシュ・フロー	543	516
② 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 807	△ 458
③ 財務活動によるキャッシュ・フロー	205	△ 159
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 4	0
現金及び現金同等物の増減額	△ 63	△ 101
現金及び現金同等物の期首残高	1,016	1,058
④ 現金及び現金同等物の四半期末残高	953	956

### Point

- 税金等調整前四半期純利益や減価償却による資金留保等により、「営業活動によるキャッシュ・フロー」は5億43百万円の収入となりました。これは前年同期に比べ26百万円の収入の増加となりました。
- 富士営業所をはじめとする有形固定資産の取得やシステム開発に関連する無形固定資産の取得による支出があったことなどにより、「投資活動によるキャッシュ・フロー」は8億7百万円の支出となりました。これは前年同期に比べ3億49百万円の支出の増加となりました。
- 長期借入金の返済や社債の償還等の一方、設備資金調達のための長期借入を実施したことなどにより、「財務活動によるキャッシュ・フロー」は2億5百万円の収入となりました。前年同期は1億59百万円の支出でありました。
- 以上の結果、当第2四半期末の「現金及び現金同等物の残高」は9億53百万円となり、前年同期末に比べ3百万円の減少となりました。

## ■株式の状況

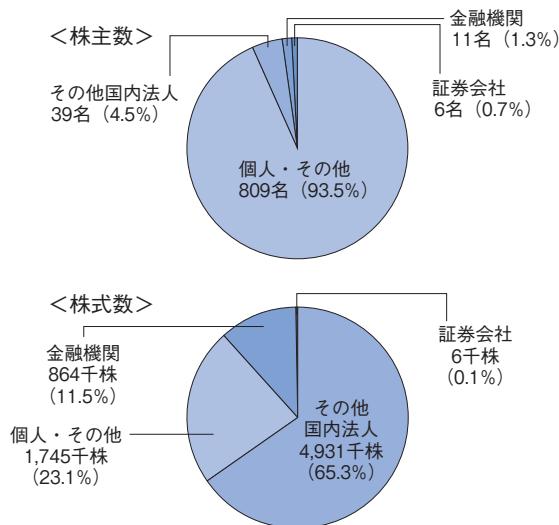
発行可能株式総数	17,600,000株
発行済株式の総数	7,546,000株
株主数	865名

## ■大株主 (平成25年9月30日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社住友倉庫	4,527	60.7
遠州トラック従業員持株会	226	3.0
澤田邦彦	207	2.8
株式会社商工組合中央金庫	169	2.3
有限会社スリーナイン	131	1.8
株式会社静岡銀行	124	1.7
株式会社三井住友銀行	121	1.6
三井住友海上火災保険株式会社	103	1.4
日本生命保険相互会社	100	1.3
東京海上日動火災保険株式会社	100	1.3

(注) 持株比率は自己株式 (84,922株) を控除して計算しております。

## ■所有者別の分布状況



## ■研修施設「ドライブシミュレーションセンター」を開設

このたび当社は、中・大型車輛における安全運転教育の強化・充実を図るため、ドライブシミュレーターを中核とする「ドライブシミュレーションセンター」(床面積96㎡)を本社(静岡県袋井市)に開設し、5月より運用を開始しました。ドライブシミュレーターは、様々な道路状況のもとでの擬似的な走行体験を得るため、業界初の試みとして運転席部分に実物の大型車輛のキャビンを使用しているのが特徴で、キャビンの前方と左右側面に配置した80インチのワイド液晶画面には、運転操作に連動した最新のコンピュータグラフィックスによる精細な映像が映し出され、危険予知能力の向上に向けた運転技能診断や訓練ができるようになっています。同施設には講義室も併設され、運転マナーやドライブレコーダーの画像記録に基づくKYT教育(危険予知トレーニング)などの基礎研修を並行して行っています。

同センターでの研修は、当社グループ内の新人ドライバーを主な対象に開始しましたが、今後は全ドライバーに拡大し、さらには当社の協力会社や他の運輸事業者へも開放していく計画です。また、地元の小中学生等を対象にした交通安全教室の一環として施設利用を促進するなど、地域活動や安全運転、事故防止に取り組む姿勢を内外へ発信していきたいと考えています。



平成25年5月18日 中日新聞

## ■海外調理器具メーカー(日本法人)の商品配送センター業務を受託

当社は、ドイツに本社を置く高級調理器具メーカーの日本法人様の商品配送センター業務を親会社である住友倉庫を通じて受託し、本年5月より、静岡県掛川市にある光陽倉庫において業務を開始しました。同社は、全国の直営店や百貨店等への販売のほか、通信販売も行っており、このための配送センターを関東地区に設けておりましたが、住友倉庫と共に中部地区への誘致を行った結果、当社倉庫での業務受託となったものです。

同業務は、ドイツから輸入した圧力鍋やフライパンといった各種調理器具の入出庫作業を中心に、日本語仕様に変更された取扱説明書や保証書等の封入作業、商品の国内配送の元請け業務を行っています。